

A：目的

平成14年度の本研究では今までの日本産婦人科医会の研究を集積し、日本における女性医師の勤務状況の現状と課題を抽出した。さらに、フランス人女性医師を招きフランスにおける女性医師の勤務状況とその支援について現状を把握、日本の女性医師も招いた討論会を開催してそれぞれの国の現場の生の声をもとに我が国がこれから持つべきスタンスについて考察した。その結果として、日本の女性産科医師が日々の勤務でもっとも憂慮しているのは出産、育児に関する件であり、それについてはハード、ソフト面でのさらなる機能的充足が必要である。また、それらに対する対応を考える場合先進的な取り組みを行っている諸外国の情報を入手して分析することは非常に有益であるという結論を得た。

本年度は平成14年度に抽出された改善点について、現在産科女性医師として臨床の現場に居る日本産婦人科学会会員に意見を募るアンケート調査を行った。

分担研究者が所属する東北地方でも産科医師の労働力が極めて不足している。医師不足のため地方の中核病院の産科が分娩取り扱い停止、あるいは閉鎖に追い込まれることが稀ならず起こっている。その状況は首都圏や関西地方よりさらに深刻であるといえる。女性医師の勤務状況に関する現在までの日本産婦人科医会の調査母体を検討すると回答者の殆どは関東、関西の人口、病院密集地域に勤務している医師である。例えば、平成14年度の日本産婦人科医会の同様の報告では解答した163人のなかで東北地方からの解答は5人(3.0%)、九州地方からの解答は13人(8.0%)である。

これらの実情を踏まえ、本アンケート調査はその対象を東北地方、九州地方、東京都の全ての日本産婦人科学会会員として、産科女性医師の勤務状況について地域毎の比較検討を行うことも目標とした。

B：方法

日本産婦人科学会名簿より東北6県および東京都、九州8県の全ての女性医師名を抽出した。それら全ての会員に添付資料1のアンケートをダイレクトメールとして送付（総送付数1229通 東北179、東京703、九州347）し、記入の上返信を依頼した。

V アンケート集計 (ダイジェスト)

産婦人科女性医師の 勤務実態に関する調査

厚生労働科学研究費補助による子ども家庭総合研究事業
「小児科産科若手医師の確保・育成に関する研究」

東北大学 佐藤多代 寺田幸弘 岡村州博

目的

産婦人科医師数減少と高齢化に伴う労働力の低下は全国的な傾向であるが、地方はより深刻な状況である。

産婦人科医師に占める女性医師の比率が増加傾向にあるなかで、地方の現状を反映した勤務実態を調査し、地域毎の比較検討を行う事を目的とした。

本報告は、厚生労働科学研究費補助による子ども家庭総合研究事業「小児科産科若手医師の確保・育成に関する研究」（総括研究者 鴨下重彦）の分担研究として行われたものである。

調査概要

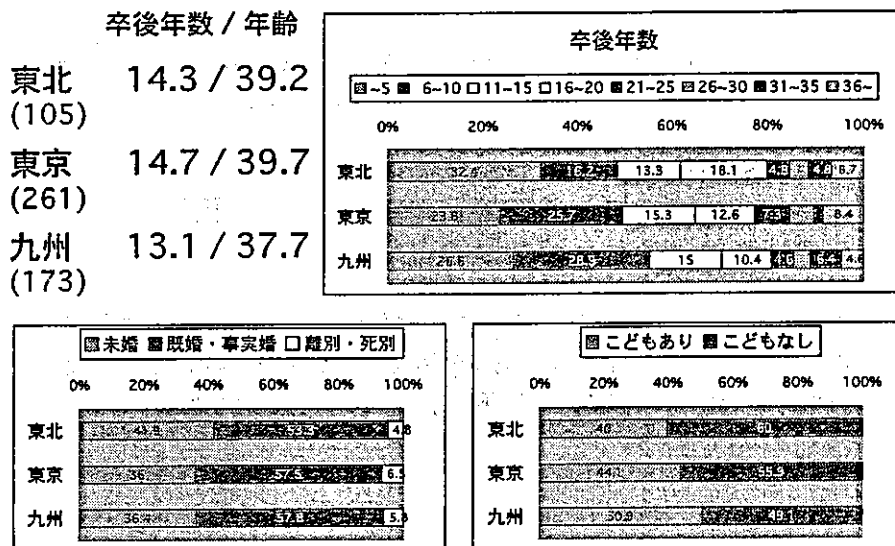
調査期間：平成 15 年 12 月中旬～平成 16 年 1 月末日

調査対象：日本産科学婦人科学会員のうち、
東北、東京、九州地方部会に所属する
全女性医師 1229 名
(東北 179 名、東京 703 名、九州 347 名)

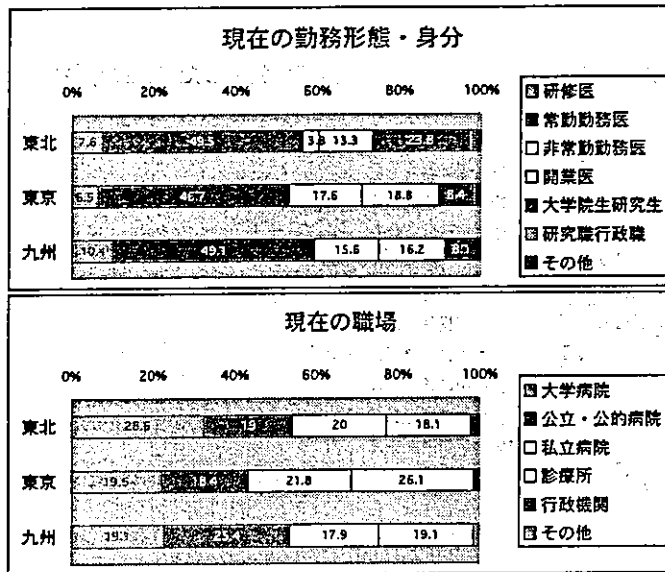
調査方法：無記名アンケート調査

調査状況：アンケート回収数 539 名 (回収率 43.8%)
(東北 105 名、東京 262 名、九州 173 名)

卒後年数・年齢，婚姻・こどもの有無



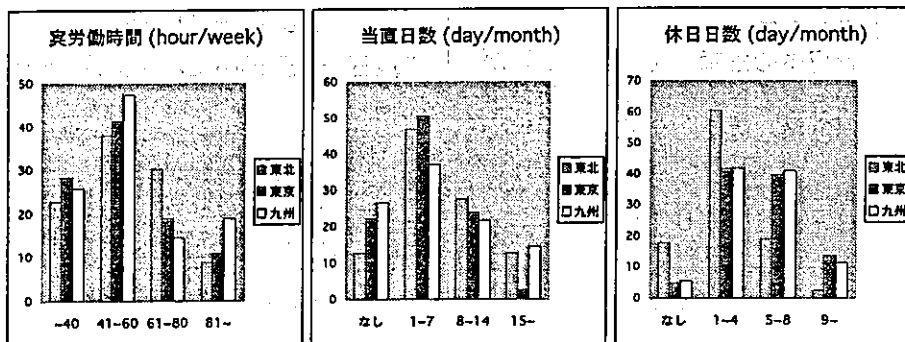
勤務形態・身分，職場



勤務医の割合

東北 75.2%
(79/105)
東京 70.1%
(183/261)
九州 71.7%
(124/173)

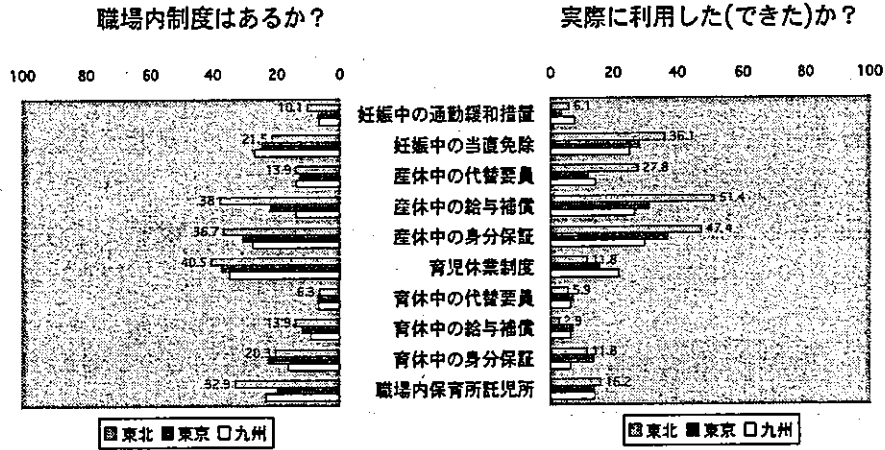
勤務実態



平均実労働時間 平均当直日数 休日4日以下

東北 (79)	58.9 h/w	7.4 d/m	78.5 %
東京 (183)	53.3	5.4	46.4
九州 (124)	55.4	6.3	47.5

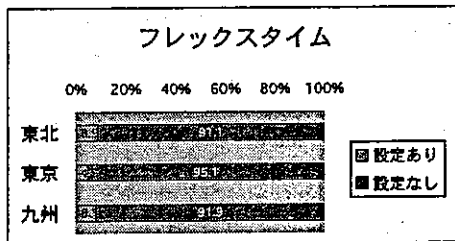
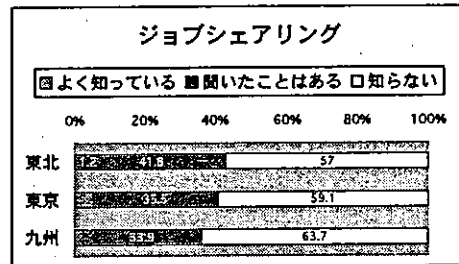
諸制度利用の現状



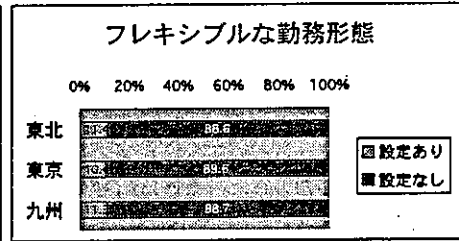
フレックスタイム、ジョブシェアリング

フランスでの実例
 育児中の医師（男女問わず）が
 数人でチームを組み業務を分担
 （外来、病棟、手術、その他）

日本の現状
 ほとんど普及していない



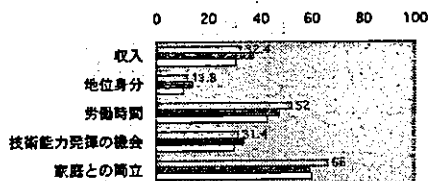
半日出勤、出勤時刻の緩和措置等



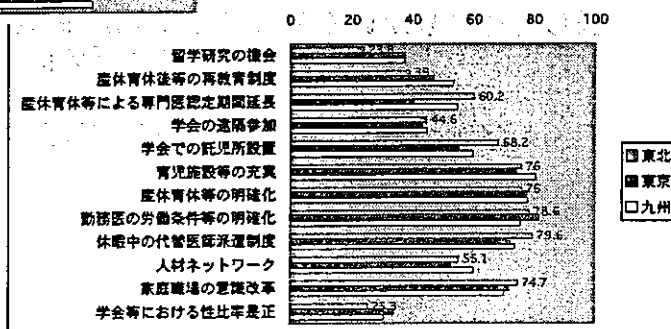
外来予約診療のみ、検診業務等

女性医師が現在求めていること

現在の不満度は？



仕事の充実のために何が必要か？



結果

地方の女性医師のより厳しい勤務実態が明らかになった。

産休・育休中の諸制度が存在する施設は依然として少なく、存在したとしても実際にはそれを利用できない現状も明らかとなった。

欧米では既に導入されているジョブシェアリング等のシステムは、日本ではほとんど試みられていなかった。

結語・提言

女性医師が現在求めていることは、経済的充足や職場内地位向上ということよりも、女性として普通の生活を営めるような具体的なサポートシステムである。

厳しくもやりがいのある科として産婦人科を選択した女性医師を支援し、また年々増加傾向にある女性医師を確保育成するためにも、妊娠・出産・育児に対する医局内規等の作成、職場内環境整備等が急務である。

考察

アンケート送付数および回収数は送付 1229 通、回収 539 通（回収率 43.8%）であった。地域別には東北地域：発送 179 通、回収 105 通（回収率 58.7%）、東京都：発送 703 通、回収 261 通（回収率 37.1%）、九州地域：発送 347 名、回収 173 通（回収率 49.9%）、回答者平均年齢は 39.0 才であった。平成 7 年の日本産婦人科医会勤務医部での調査（回収数 263 通、回答率 13.1%）、平成 12 年の同会での調査（解答数 201 通、回答率 50.3%）より多くの解答が寄せられ、本懸案が産科女性医師自身重要なものになってきていると考えられた。また、東京都と比較し地方の女性医師の回答率が高いことは、地方の産科女性医師が改善を必要とするような厳しい環境におかれていることの裏付けと考えられた。

問 8 および問 9：1 週間の実労働時間と 1 ヶ月の実当直回数について東京都と東北地方、九州地方で大きな相違があり、地方の産科女性医師の厳しい勤務実体が明らかになった。すなわち、東北地方の平均実労働時間は東京都に比して週あたり実に 6.8 時間も長かった。また、九州地方の月平均当直数は東京に比して 2.4 回も多かった。勤務医のみに限定した場合この地域格差はさらに大きくなる。

問 11：現在の勤務状況に関する満足度の調査では収入、地位、能力発揮の機会の項目では非常に不満から非常に満足まで正規分布様に解答があった。しかし、労働時間、およびプライベートとのバランスとの項目では解答が不満の方に片寄って分布した。すなわち、本人が満足できるような自由な時間が産科女性医師には与えられていないと考えられた。

問 14 および問 15：充実して仕事を続ける上で現在支障になること、また必要なことについて質問した。支障となるものとして多く挙げられたのが本人の体力と職場の労働条件、そして妊娠、出産、育児と教育についてである。それに対応して、必要なものとしては、育児介護施設の充実、産休、育休の明確化と所得義務化、勤務医の労働条件や身分の明確化などが必要なものとして挙げられていた。金銭的な問題、希望就職先への転勤などを重要としたものは少数であり、学会などでの性比率は正などの女性のプロモーションを必要とした意見も少なかった。すなわち、産科という厳しくもやりがいのある仕事を志す女性をさらに支援してゆくためには、フィジカルな面を具体的にサポートするシステムの確立と妻、母としても充実した暮らしが可能になるような、具体的な施設とルールの拡充が必要であることが明らかになった。

問16：昨年度の当研究で勤務改善の具体的な方策として考えられたフレックスな勤務形態の導入、フレックスタイム、ジョブシェアリングの導入について現状を調査した。所属施設にフレックスなポジションが存在すると解答したのは、わずか54名(10%)であった。フレックスタイムが設定されていると解答したのはわずか40名(7.4%)であった。今回は個人別の調査であるので、導入施設数としてはさらに少ないことが考えられる。すなわち、日本の産科医療の現場ではこのような制度が殆ど試みられていないことが明らかになった。また、ジョブシェアリングについて良く知っているという解答したのは22名(4.1%)であり、導入を奨励する場合、その具体的なプロモーションより始める必要があることが考えられた。

問17、18：現在職場に設定されている制度、施設の存在の有無とその利用状況について調査した。産休、育休中の諸制度が存在する施設は依然少なく、またその制度の存在の有無について周知されていない(すなわち知らない)とする解答も多く目立った。このような制度、施設は東京よりもむしろ地方にその導入率が高かった。しかし、実際の利用状況は制度の導入率に比較して低いことが明らかになった。代替医師の導入についてはどの地域も少なく、存在するとの解答は39名(7.2%)であった。代替要員制度が使用されたとの答えはわずか16名(3.0%)であり、東北地方では2名のみであった。介護休業制度の実際の導入例は全体で0であり、国民が権利として受けられる福利が産科女性医師にはもたらされていないことがわかった。

問19から22：独身者を対象に質問した。特に産科の医師であることが結婚の妨げになっていると考えている者は少なかった。また、結婚しても現在のペースで仕事を続けたいことに関しては70名(44%)の回答者が、続けたいと希望しているが無理であろうと解答していた。

問23から25：既婚者を対象に質問した。医師と家庭生活の両立は結婚前の理想どうか、という問いに対し47名(13.8%)が理想どおりと解答したにとどまった。特に東北地方、九州地方では理想とかけ離れた生活が結婚後にまっていたことが明らかになった。

問26から28：中学生までの子供をもつ者を対象に質問した。勤務中の育児に関しては、依然両親に頼ることが多く、一人で在宅という親としては不健全な状況をとらざるおえなかった解答が29名(8.6%)あった。子供の急病時あるいは感染症などの対応については苦慮している解答が多くあった。その対応としては両親への依頼、あるいは自分で休暇をとるものが殆どであり、その他の選択肢が実際には機能していないことが明らかになった。

結論

1：産科女性医師増加のプロモーションを考慮するときは、地域の現状を考慮した上ですすめてゆく必要がある。

2：現場の産科女性医師が現在求めていることは収入、地位などのプロモーションではなく、フィジカルな面を具体的にサポートするシステムと妻、母としても充実した暮らしが可能になるような施設とルールの拡充である。

3：フレックスタイム等の当事者の認識とその導入は殆ど存在しない、産科女性医師増加の一案として導入する場合、そのような制度の認知より始める必要がある。

産科女性医師の現状調査

この調査は産婦人科女性医師の現状を知り、問題点を探り、今後の職場環境の整備に役立てるためのものです。ありのままの現状をお答えください。調査結果は統計的に用いる以外、個々の内容についての秘密は守られます。以前にも同様のアンケートにお答え頂いているとは存じますが、今回の調査はより地域性に基づいた現場の声を反映させ、職場環境、勤務状況の改善の糸口を探るといふ点で必要不可欠なものであります。御多忙中とは存じますが、何とぞ御協力頂きますようお願い申し上げます。

記入方法：回答は当てはまる数字あるいは文字を書き入れるか、
もしくは選択肢を選んでください。

提出方法：同封の返信用封筒にアンケート用紙を入れ、
平成16年1月20日までに直接投函してください。

問 1：年齢をご記入ください。

満 歳

問 2：現在卒後何年目ですか。

卒後 年目

問 3：婚姻の有無についてお答えください。

未婚 既婚（事実婚） 離別・死別

問 4：家事は主に誰が担当していますか。

本人 夫・パートナー 両親 ホームヘルパー
 その他

問 5：お子さまはいらっしゃいますか。

はい（ 人） いいえ

問 6：現在の主な勤務形態（職種）をひとつ選んでください。

- 研修医 常勤の勤務医 非常勤の勤務医 開業医
 大学院生・研究生
 研究職・行政職
 その他（具体的にお答えください)
 休職中（直前の勤務形態は)

問 7 から問 10 について、現在働いていない方、休職中の方は直前の勤務状況
 に対してお答えください。

問 7：現在の主な職場をひとつ選んでください。

- 大学病院 公立病院 私立病院 診療所
 研究所 行政機関 その他 ()

問 8：1 週間の実労働時間をお答えください。

週 時間

問 9：1 か月に当直は何回ありますか。

月 回

（当直の種類は 院内待機 自宅待機）

問 10：1 か月に休日（学会参加等は除く）は何日ありますか。

- なし 1～4日 5～8日 9日以上

問 11：以下の項目について、現在の満足度に最も近いものを選んでください。

- | | | | | | |
|----------------|------------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|------------------------------------|
| 収入： | <input type="checkbox"/> 非常に
不満 | <input type="checkbox"/> 不満 | <input type="checkbox"/> 妥当 | <input type="checkbox"/> 満足 | <input type="checkbox"/> 非常に
満足 |
| 地位： | <input type="checkbox"/> 非常に
不満 | <input type="checkbox"/> 不満 | <input type="checkbox"/> 妥当 | <input type="checkbox"/> 満足 | <input type="checkbox"/> 非常に
満足 |
| 労働時間： | <input type="checkbox"/> 非常に
不満 | <input type="checkbox"/> 不満 | <input type="checkbox"/> 妥当 | <input type="checkbox"/> 満足 | <input type="checkbox"/> 非常に
満足 |
| 自身の技術・能力発揮の機会： | <input type="checkbox"/> 非常に
不満 | <input type="checkbox"/> 不満 | <input type="checkbox"/> 妥当 | <input type="checkbox"/> 満足 | <input type="checkbox"/> 非常に
満足 |
| プライベートとのバランス： | <input type="checkbox"/> 非常に
不満 | <input type="checkbox"/> 不満 | <input type="checkbox"/> 妥当 | <input type="checkbox"/> 満足 | <input type="checkbox"/> 非常に
満足 |

問 12：これまでに休職（一時的に休んだり辞めたり）したことがありますか。

はい

時期：卒後 年目

理由：()

いいえ

問 13：以下の項目について、これまでに経験があるものを選んでください。

(複数回答可)

- 臨床医から研究職・行政職への転向 (卒後 年目)
- 非常勤医師としてのみ勤務 (卒後 年目)
- 開業 (卒後 年目)

問 14：あなたが充実して仕事を続ける上で、現在支障となるものはありますか。

(複数回答可)

- | | | | |
|------------------------------------|---|---|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 自分の病気 | <input type="checkbox"/> 自分の体力 | <input type="checkbox"/> 自分の年齢 | <input type="checkbox"/> 自分の能力 |
| <input type="checkbox"/> 結婚 | <input type="checkbox"/> 妊娠・出産 | <input type="checkbox"/> 育児・教育 | <input type="checkbox"/> 介護 |
| <input type="checkbox"/> 配偶者の転勤・留学 | <input type="checkbox"/> 配偶者の理解・支援不足 | <input type="checkbox"/> 職場での人間関係 | |
| <input type="checkbox"/> 職場の労働条件 | <input type="checkbox"/> 職場での理解・支援不足 | <input type="checkbox"/> 復職時再教育システムの不足 | |
| <input type="checkbox"/> 職場での性差別 | <input type="checkbox"/> 希望就職先への転勤・残留困難 | <input type="checkbox"/> その他 (<input type="text"/>) | |
| <input type="checkbox"/> 金銭的な問題 | | | |

現在支障はない

問 15：あなたの仕事がより充実するために、以下のものは必要ですか。

- | | | | | |
|---------------------------|-------------------------------|-----------------------------|--------------------------------|-------------------------------|
| 留学・研究の機会： | <input type="checkbox"/> 絶対必要 | <input type="checkbox"/> 必要 | <input type="checkbox"/> あればよい | <input type="checkbox"/> 必要ない |
| 育児・介護休暇後の再教育制度： | <input type="checkbox"/> 絶対必要 | <input type="checkbox"/> 必要 | <input type="checkbox"/> あればよい | <input type="checkbox"/> 必要ない |
| 妊娠・出産・育児・介護等による専門医認定期間延長： | <input type="checkbox"/> 絶対必要 | <input type="checkbox"/> 必要 | <input type="checkbox"/> あればよい | <input type="checkbox"/> 必要ない |
| インターネット等による学会の遠隔参加： | <input type="checkbox"/> 絶対必要 | <input type="checkbox"/> 必要 | <input type="checkbox"/> あればよい | <input type="checkbox"/> 必要ない |
| 学会での託児所設置： | <input type="checkbox"/> 絶対必要 | <input type="checkbox"/> 必要 | <input type="checkbox"/> あればよい | <input type="checkbox"/> 必要ない |
| 育児施設・介護制度の充実： | <input type="checkbox"/> 絶対必要 | <input type="checkbox"/> 必要 | <input type="checkbox"/> あればよい | <input type="checkbox"/> 必要ない |
| 産休・育休・介護休暇の明確化・取得義務化： | <input type="checkbox"/> 絶対必要 | <input type="checkbox"/> 必要 | <input type="checkbox"/> あればよい | <input type="checkbox"/> 必要ない |
| 勤務医の労働条件・身分の明確化： | <input type="checkbox"/> 絶対必要 | <input type="checkbox"/> 必要 | <input type="checkbox"/> あればよい | <input type="checkbox"/> 必要ない |
| 上記休暇中の代替医師確保 (派遣医師制度)： | <input type="checkbox"/> 絶対必要 | <input type="checkbox"/> 必要 | <input type="checkbox"/> あればよい | <input type="checkbox"/> 必要ない |
| 就職情報・人材ネットワーク： | <input type="checkbox"/> 絶対必要 | <input type="checkbox"/> 必要 | <input type="checkbox"/> あればよい | <input type="checkbox"/> 必要ない |

家庭内・職場内の意識改革：

絶対必要 必要 あればよい 必要ない

医学部・学会・医師会における性比率是正：

絶対必要 必要 あればよい 必要ない

問 16：昨年度、当研究班では欧米における産婦人科女性医師の勤務実態を調査いたしました。その結果として、以下の特徴が挙げられました。

1. 種々のフレックスな勤務形態を設定して、業務選択の幅をもたせている
(例：medical gynecologist : birth control や検診等の外来診療専門医)
2. フレックスタイムの設定
(例：出勤時間や勤務時間等)
3. ジョブシェアリングを有効に機能させている
(例：育児中の医師は男女問わず複数人がチームとなり業務を担当)

これらについて御意見をお伺いします。

貴施設には1のようなポジションの設定はありますか。

はい (具体的に) いいえ

貴施設には2のようなフレックスタイムの設定はありますか。

はい (具体的に) いいえ

あなたは3のようなジョブシェアリングについてはご存じでしたか。

よく知っている 聞いたことはある 知らなかった

問 17：あなたの職場には以下の制度がありますか。

妊娠中の通勤緩和措置：ある ない 知らない

妊娠中の当直免除：ある ない 知らない

産休中の代替要員：ある ない 知らない

産休中の給与保証：ある ない 知らない

産休中の身分保障：ある ない 知らない

- | | | | |
|-------------|-----------------------------|-----------------------------|-------------------------------|
| 育児休業制度： | <input type="checkbox"/> ある | <input type="checkbox"/> ない | <input type="checkbox"/> 知らない |
| 育休中の代替要員： | <input type="checkbox"/> ある | <input type="checkbox"/> ない | <input type="checkbox"/> 知らない |
| 育休中の給与保障： | <input type="checkbox"/> ある | <input type="checkbox"/> ない | <input type="checkbox"/> 知らない |
| 育休中の身分保障： | <input type="checkbox"/> ある | <input type="checkbox"/> ない | <input type="checkbox"/> 知らない |
| 職場内保育園・託児所： | <input type="checkbox"/> ある | <input type="checkbox"/> ない | <input type="checkbox"/> 知らない |
| 介護休業制度： | <input type="checkbox"/> ある | <input type="checkbox"/> ない | <input type="checkbox"/> 知らない |

問 18：問 17 の項目について、あなたは実際に利用しましたか。

- | | | | |
|-------------|-------------------------------|---|--|
| 妊娠中の通勤緩和措置： | <input type="checkbox"/> 利用した | <input type="checkbox"/> 利用しなかった・
利用できなかった | <input type="checkbox"/> まだ利用する
必要がない |
| 妊娠中の当直免除： | <input type="checkbox"/> 利用した | <input type="checkbox"/> 利用しなかった・
利用できなかった | <input type="checkbox"/> まだ利用する
必要がない |
| 産休中の代替要員： | <input type="checkbox"/> 利用した | <input type="checkbox"/> 利用しなかった・
利用できなかった | <input type="checkbox"/> まだ利用する
必要がない |
| 産休中の給与保証： | <input type="checkbox"/> 利用した | <input type="checkbox"/> 利用しなかった・
利用できなかった | <input type="checkbox"/> まだ利用する
必要がない |
| 産休中の身分保障： | <input type="checkbox"/> 利用した | <input type="checkbox"/> 利用しなかった・
利用できなかった | <input type="checkbox"/> まだ利用する
必要がない |
| 育児休業制度： | <input type="checkbox"/> 利用した | <input type="checkbox"/> 利用しなかった・
利用できなかった | <input type="checkbox"/> まだ利用する
必要がない |
| 育休中の代替要員： | <input type="checkbox"/> 利用した | <input type="checkbox"/> 利用しなかった・
利用できなかった | <input type="checkbox"/> まだ利用する
必要がない |
| 育休中の給与保障： | <input type="checkbox"/> 利用した | <input type="checkbox"/> 利用しなかった・
利用できなかった | <input type="checkbox"/> まだ利用する
必要がない |
| 育休中の身分保障： | <input type="checkbox"/> 利用した | <input type="checkbox"/> 利用しなかった・
利用できなかった | <input type="checkbox"/> まだ利用する
必要がない |
| 職場内保育園・託児所： | <input type="checkbox"/> 利用した | <input type="checkbox"/> 利用しなかった・
利用できなかった | <input type="checkbox"/> まだ利用する
必要がない |
| 介護休業制度： | <input type="checkbox"/> 利用した | <input type="checkbox"/> 利用しなかった・
利用できなかった | <input type="checkbox"/> まだ利用する
必要がない |

次頁にも質問があります。

未婚の方は問 19 から問 22 までお答えください。

既婚（離別・死別含む）の方は問 23 から問 25 までお答えください。

問 26 以降は現在中学生までのお子さまがいらっしゃる方のみお答えください。

問 19 から問 22 は、未婚の方のみお答えください。

問 19：医師であることが結婚の妨げになっていると感じますか。

はい いいえ 自分は感じないが
相手は感じるだろう どちらとも言えない

問 20：産婦人科医であることが結婚の妨げになっていると感じますか。

はい いいえ 自分は感じないが
相手は感じるだろう どちらとも言えない

問 21：結婚しても現在のペースで仕事を続けたいとお考えですか。

はい いいえ 続けたいが
無理だろう どちらとも言えない

問 22：妊娠・出産しても現在のペースで仕事を続けたいとお考えですか。

はい いいえ 続けたいが
無理だろう どちらとも言えない

問 23 から問 25 は、既婚（離別・死別含む）の方のみお答えください。

問 23：医師と家庭生活との両立は、結婚前の理想どおりですか。

はい いいえ 自分は満足だが
相手が不満だろう どちらとも言えない

問 24：産婦人科医と家庭生活との両立は、結婚前の理想どおりですか。

はい いいえ 自分は満足だが
相手が不満だろう どちらとも言えない

問 25：結婚後、仕事のペースはどうなりましたか。

結婚後
ペースを落とした 出産後
ペースを落とした 妊娠前と
変わらない

問 26 以降は現在中学生までのお子さまがいらっしゃる方のみお答えください。

問 26：勤務中、お子さんをどのようにされていますか。（複数回答可）

（小中学生のお子さまの場合、放課後のことをお答えください。）

学童保育 認可保育園 無認可保育園 託児所
 両親 配偶者 親戚・兄弟姉妹 友人・知人・隣人

ベビーシッター

ファミリーサポートセンター

一人で在宅

その他

問 27：勤務するにあたり、以下の項目は問題となりましたか。

- | | | | |
|--------------------------|---------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|
| 認可保育園の入所（入所待ち・入所時期等）： | <input type="checkbox"/> 問題になった | <input type="checkbox"/> 問題は起こらなかった | <input type="checkbox"/> 起こったが問題にならず |
| 子どもの急病時の対応（お迎え等）： | <input type="checkbox"/> 問題になった | <input type="checkbox"/> 問題は起こらなかった | <input type="checkbox"/> 起こったが問題にならず |
| 子どもの感染症（学校伝染病での出席停止等）： | <input type="checkbox"/> 問題になった | <input type="checkbox"/> 問題は起こらなかった | <input type="checkbox"/> 起こったが問題にならず |
| 子どもの慢性疾患（通院・管理等）： | <input type="checkbox"/> 問題になった | <input type="checkbox"/> 問題は起こらなかった | <input type="checkbox"/> 起こったが問題にならず |
| 子どもの習い事（送迎等）： | <input type="checkbox"/> 問題になった | <input type="checkbox"/> 問題は起こらなかった | <input type="checkbox"/> 起こったが問題にならず |
| 子どもの教育（塾への送迎・家庭教師への対応等）： | <input type="checkbox"/> 問題になった | <input type="checkbox"/> 問題は起こらなかった | <input type="checkbox"/> 起こったが問題にならず |
| 子どもの心理的問題（不登校等）： | <input type="checkbox"/> 問題になった | <input type="checkbox"/> 問題は起こらなかった | <input type="checkbox"/> 起こったが問題にならず |
| 保育園・学校行事（参観・保護者会等）： | <input type="checkbox"/> 問題になった | <input type="checkbox"/> 問題は起こらなかった | <input type="checkbox"/> 起こったが問題にならず |
| 学級・学校閉鎖（伝染病・天災等）： | <input type="checkbox"/> 問題になった | <input type="checkbox"/> 問題は起こらなかった | <input type="checkbox"/> 起こったが問題にならず |
| 学校の長期休業（夏休み等）： | <input type="checkbox"/> 問題になった | <input type="checkbox"/> 問題は起こらなかった | <input type="checkbox"/> 起こったが問題にならず |
| 保育園・学校の安全管理への不安： | <input type="checkbox"/> 問題になった | <input type="checkbox"/> 問題は起こらなかった | <input type="checkbox"/> 起こったが問題にならず |
| その他： | <input type="checkbox"/> 問題になった | <input type="checkbox"/> 問題は起こらなかった | <input type="checkbox"/> 起こったが問題にならず |

問 28：問 27 の問題に対し、どのように対応されましたか。（複数回答可）

- | | | | | |
|------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 学童保育を利用した | <input type="checkbox"/> 病児保育を利用した | <input type="checkbox"/> 無認可保育園を利用した | <input type="checkbox"/> 託児所を利用した | <input type="checkbox"/> ファミリーサポートセンターを利用した |
| <input type="checkbox"/> 両親に頼んだ | <input type="checkbox"/> 親戚・兄弟姉妹に頼んだ | <input type="checkbox"/> 友人・知人・隣人に頼んだ | <input type="checkbox"/> ベビーシッターに頼んだ | |
| <input type="checkbox"/> 自分が仕事を休んだ | <input type="checkbox"/> 配偶者が仕事を休んだ | <input type="checkbox"/> 自分が仕事を辞めた | <input type="checkbox"/> 配偶者が仕事を辞めた | <input type="checkbox"/> その他 |

質問は以上です。御協力ありがとうございました。

なお、今回の調査についての御意見、御提案等ございましたら、次頁にご自由に記入ください。